

2020年度 看護部年間教育計画

カテゴリー	対象者	目的・到達目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
実務Ⅰ	新卒 入職～1年	目的 1. 看護チームの一員としての役割を認識する。 2. チームメンバーとしての職責を果たすために必要な能力を獲得する。 目標 1. 自立した看護実践を行うための知識・技術を身につけることができる。 2. 安全で確実な看護を実践できる。 3. 職場環境に適応し、よりよい人間関係を築くことができる。 4. 看護チームの一員としての自覚を持ち、積極的に看護に取り組むことができる。	①新人オリエンテーション(4/1～3) 看護部概要、教育システム、感染管理、接遇、基準手順倫理、医療安全、目標管理療養の基礎知識 記録・看護必要度 ②臨地研修(4/6～4/10) ③看護技術(4/27)	③ME機器の使い方(ポンプ・シリンジポンプ)(5/7) ④夜勤オリエンテーション(5/28)	3か月フォロー～BLS～(6/25)	コミュニケーション～基礎～(7/16)	メンバーシップ(8/6)	6か月フォロー看護必要度(9/10) ケーススタディ患者選定・看護展開	多重課題(10/1)	ACLS(11/5)	9か月フォロー看護倫理(12/3)	ナラティブ提出(1/15)	ナラティブ発表(2/4)	1年フォロー～1年の振り返り～(3/18) 技術チェックの不足部分補う研修	
	既卒 経験1年未満	看護技術習得(各部署) ←	技術チェック①	技術チェック②	技術チェック③	技術チェック④ →									
実務Ⅱ	卒後 2年目	目的 1. 看護チームにおける自己の役割を認識する。 2. チームメンバーとしての職責を果たすために必要な能力を獲得する。 目標 1. 個別性のある看護を実践できる。 2. 日々発生する問題を解決する手だてを見出すことができる。 3. チームメンバーと円滑な人間関係を築くことができる。		看護記録看護必要度(5/14)	目標管理(PDC)(6/4) 技術チェック①	コミュニケーションⅠ～アサーティブ～(7/2)	看護過程Ⅰ(8/27)	メンバーシップⅡ～自己分析～(9/24) 技術チェック②	看護過程Ⅱ(10/8)		看護倫理(11/12)	ME機器の取り扱い(呼吸器)(12/10)	プリセプター研修(1/21)	ケーススタディ提出(2/15) リーダーシップⅠ～理想のリーダー像～(2/25) 看護観提出(2/28)	ケーススタディ発表(3/3～3/5) 看護実践能力の到達度評価
	卒後 3年目								リーダーシップⅡ～カンファレンスの方法～(10/15)				技術チェック③	看護実践能力の到達度評価	
実務Ⅲ	卒後 4～5年目	目的 1. 医療チームにおける自己の役割を認識する。 2. 指導者層としての職責を果たすために必要な能力を獲得する。 目標 1. 職場目標を達成するためのより良い看護が実践できる。 2. 日々の業務の中で、効率的な運営を図ることができる。 3. 業務上発生する問題の解決に向けて、上司・看護者へ働きかけることができる。 4. 円滑な人間関係を築きながら、チームメンバーに教育的に関わることができる。 5. 看護実践の役割モデルとしての職責を自覚し、自己の成長を図るための課題を明確にできる。	臨床指導者研修(学校と)実習指導者会議 外部研修(臨床指導者講習会)	看護記録看護必要度(5/21)	目標管理(PDC)(6/11) 技術チェック①	コミュニケーションⅡ～コーチング～(7/9)							技術チェック③	看護実践能力の到達度評価	
	臨床指導者 教育担当者						臨床指導者研修(学校と)								
実務Ⅳ	卒後 6年目以上	目的 1. 医療チームにおける自己の役割を認識する。 2. 指導者層として職責を果たすために必要な能力を発揮できる。 目標 1. 看護チームの推進力となり看護の質の向上に貢献できる。 2. 社会の変化や医療の進歩に応じた看護が実践できる。 3. チームメンバーに教育的な関わりができる。 4. 看護管理能力を身につけ中堅としての役割を認識して行動できる。 5. 自分の目指すキャリアアップに主体的に取り組むことができる。	外部研修(ファーストレベル)(セカンドレベル)(認定看護師)		目標管理(PDC)(6/18)				パートナーシップ(10/29)	看護倫理(11/26)					
看護研究	研究 対象者	目的 1. 看護研究の意義を理解し、実践することにより看護の質の向上を図る。 2. 看護研究の成果を実践の場で患者ケアに活用する。 目標 1. 看護研究について理解する。 2. 看護の事象から生じる問題を研究的視点でとらえることができる。 3. 解決したい問題を科学的・理論的に考察で論証することができる。 4. 文献の活用ができる。 5. 看護研究のプロセスと成果を通して知識を深めることができる。 6. 看護研究の成果後実践場面で活用できる。	看護研究「研究概論」()	看護研究「統計処理」()					看護研究「論文の書き方」()	看護研究「プレゼンテーションの方法」()		院内研究発表会(1/28)	論文提出(2/28)	論文集発行	
管理者研修	副主任	目的 1. 副主任としての役割を理解し、行動することが出来る。 目標 1. 看護実践者の第1人者として、ロールモデルになる。 2. 主任看護師を補佐し、業務上の問題解決に参画する。				副主任研修フォローアップ(7/30)								レポート提出	
	主任	目的 1. 看護課長と共に、看護単位の目標達成に向けた自己の役割を認識する。 目標 2. 主任看護師の職責を果たすために必要な能力を習得する。 1. 教育指針 目標1～7				主任研修フォローアップ(7/7)								レポート提出	
	課長	目的 1. 看護部の方針と目標を理解し、看護単位の目標達成に向けた自己の役割を認識する。 2. 看護課長の職責を果たすために必要な能力を習得する。 1. 教育指針 目標1～7	課長研修(毎月第4水) ←											→	
看護補助者		目的 看護補助業務としての患者介護について必要な知識・技術・態度を習得する。 目標 1. 業務を遂行する上で必要な基本的な知識・技術・態度を身につけ、安全で確実な介護業務を実践できる。 2. 看護チームの一員としての自覚を持ち、メンバーシップを発揮できる。	介護技術習得(各部署) ←		口腔ケア(6/9・19)			災害対策(9/8・18)			倫理(12/1・11)			→	
認定看護師	全職員	目的 1. 社会の動向に沿った質の高い看護サービスが提供できる。 2. 各領域における看護の専門性を理解し、質の高い看護を提供できる看護師を育成する。 目標 1. 看護に必要な専門知識を深め、実践に役立てる事ができる。 2. 医療看護の動向を知り、視野を広げることができる。 3. 組織的な活動を主体的に実践できる。	ONと協働で実施	がん看護	透析看護	心不全看護	精神科看護	認知症看護	がん看護	透析看護	心不全看護	精神科看護	認知症看護	報告会	
災害対策							災害対策(基礎)(8/25)						災害対策(2/18)		
医療安全			医療安全と協働で実施			医療安全(基礎)(6/30)					医療安全(KYT)(12/17)				
感染管理			ICTと協働で実施		感染対策講習会					感染対策講習会					